

「和歌山県立高等学校再編整備 第2期(前期)実施プログラム」(案)に係る県民意見募集の概要

I 県民意見募集の実施状況

1 意見の募集期間	平成21年12月26日(土)から平成22年1月20日(水)
2 提出状況	
(1) コメント数	77 通 (メール 25、FAX 45、持参 2、郵送 5)
(2) 内容別件数	
・ 全般について	1件
・ 新設特別支援学校について	13件
・ 和歌山西高等学校・和歌山北高等学校について	31件
・ 定時制・通信制教育について	37件

II 提出された意見の内容とこれに対する県教育委員会の考え方

1 全般について

	意見の概要	県教育委員会の考え方
再編整備案全般について	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会は、今まで「再編計画」について、当該校・学校関係者・地域に説明を行ってきた。しかし、教育条件整備や学習権の保障などをはじめとする「再編計画」に関わる諸問題について、十分に時間をかけて協議が尽くされたとはいえない。生徒の学習環境が保障されるのか、教育条件の低下をまねかないか等、「再編計画」をめぐっては、懸念される課題がたくさんある。 今回の「再編計画」に関わり、教育の機会均等を保障し、教育条件を整備・拡充することと同時に、当該校・学校関係者・地域と十分に時間をかけて協議を重ね、合意をはかることを強く求める。 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムの策定に当たっては、当初の段階より、地域や学校関係者等のご意見を伺いながら進めてきたところです。統合に係る課題の解消については、当該校による協議会により、検討を重ねていきます。また、今後も地域や学校関係者等の意見を広くお聞きし検討していきます。

2 新設特別支援学校について

	意見の概要	県教育委員会の考え方
案全般について	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校の新設は、たいへんありがたい。コスモス支援学校の過大規模も解消される。 今まで通りのきめ細かい指導を願う。 新設校を含め、和歌山市内に3校の支援学校ができるのであれば、新設校の規模を拡大し、校区の見直しにより、3校がほぼ均等になるようしてはどうか。 新設校の設計にあたり、教育委員会だけで考えるのではなく、関係者の声が反映されるような協議の場を設けてほしい。 障害がある生徒が長時間の通学を少しでも解消されることは望ましいことであれしく思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 近年の特別支援学校に対するニーズの高まりもあり、和歌山市の特別支援学校の過大規模化の解消を進めていきます。新設校を設置するとともに、紀北支援学校については、校舎整備により対応します。 詳細については、今後、関係者等とも協議のうえ、よりよい形をめざして設置を進めていきます。
新設校への転籍について	<ul style="list-style-type: none"> 園部分校から新設校への転籍がスムーズになるようお願いいたします。 小学部・中学部・高等部が同時に設置されスタートしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 園部分校の在校生や、紀伊コスモス支援学校本校の生徒については、説明の機会を設けるなど、スムーズな転籍となるよう対応に努めていきます。

高等学校との併置について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生と障害のある子が近くでずっと生活していくのとボランティア活動をしているのとは違う。受け入れる側の教職員や生徒への研修、指導を願う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校との併置は、今回の再編整備では、大きな位置づけとなっています。高等学校の生徒、特別支援学校の生徒が同じ空間をお互い理解しながら共用し、交流および共同学習を進めていきます。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援学校の小・中・高の教育システムを高等学校の生徒と同一場所で生活をさせることには無理がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校の生徒、特別支援学校の生徒が同じ空間をお互い理解しながら共用し、魅力ある学びの場をつくっていけるよう、努めていきます。

3 和歌山西高等学校・和歌山北高等学校について

	意見の概要	県教育委員会の考え方
統合案全般について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2か所に分かれて学校をつくるというのはいかがか。両校舎の改修は、県の財政状況を考えても、無駄に思う。西高校に新しく統合した高校を創設してはどうか。 ・ 2校舎への不安。交流を絶たないように。 ・ 学生が減少する中で、県有地の有効活用はよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒減への対応、体育科の充実、普通科の現状の見直し等の課題解消のため、統合により、両高等学校の校地を有効に活用し、一層の成果を考えていきます。 ・ 平成24年度の統合に向け、両校の協議を重ねて教育環境を向上させるよう進めます。また、特別支援学校との関係についても十分な検討を重ねていきます。
統合時期や進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合は時期尚早、和歌山全体を見て検討してほしい。 ・ 拙速に事を進めるのではなく、両校の意見を良く聞いてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該校による両校協議会を設置し、統合に係る課題の解消に努めます。また、今後も学校関係者等の意見を広くお聞きし検討していきます。
統合校の方向性について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両校が発展していくための統合であってほしいと願う。 ・ 統合後、スポーツの強化と社会で活躍できる人材育成がなされていってほしい。 ・ 中学校へ早く高校の特色をアピールする必要がある。 ・ きちんと勉強する環境を作してほしい。学力のレベル向上を願う。 ・ 統合校では、ぜひ風紀指導をきちんとしてほしい。 ・ 和歌山県のスポーツ中心校である和歌山北の歴史を今後も継承してほしい。 ・ 両校舎の交流がきちんとなるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通科の一層の活性化と体育科の今まで以上の充実を目指します。内容については、両校協議会において充実できるよう検討を重ね、また、関係各所と連携を取りながら方向性を決定していきます。
体育設備等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 和歌山北高校は、“体育科”のあるスポーツがさかんな学校でありながら、スポーツ施設が他校と比べても充実していない。 ・ 統合校では、他府県にも誇れるスポーツ教育の場となるよう希望する。 ・ 和歌山国体等でも使用できる施設を作してほしい。 ・ 今までできていなかったスポーツ科学の面に力を入れてほしい。授業やクラブで、科学的トレーニングを行える測定マシン等を設置し、全国に通じる選手を養成する。 ・ ぜひ合宿施設を作してほしい。もしくは、近隣に宿泊研修施設の確保を願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立高等学校で、唯一の体育科であり、県内スポーツの中心校であると考えています。 ・ 体育設備の充実に関しては、今後の体育科の授業や一層のスポーツ技能の向上等、様々な観点から検討し、順次、整備していく予定です。

<p>クラブ活動等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部員数が多いが狭い練習場で頑張っているクラブもある。施設の充実で、一層の結果を期待する。 ・ 県内に女子サッカー部がない。統合校には女子がサッカーを続けていける環境を是非とも考慮してほしい。 ・ 北高の普通科の生徒が運動部のクラブに入部した場合、練習はどこですか。 ・ 野球部の継続を願う。 ・ 全国で2番目に設立された体育科で、今まで全国的に優れた成績を残している生徒(選手)が多数輩出された。伝統と歴史を継続し、体育科出身の、オリンピック選手、メダリストを出してもらいたいと思う。 ・ スポーツの中心として、学力向上やスポーツ指導技能の優れた方々の配置を願う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該校による両校協議会を設置し、クラブ活動のあり方等についても検討していきます。
<p>特別支援の併置について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新設特別支援学校との共存について、共有時間の確保や児童生徒の状況を考えると相当検討しなければ、合同行事や支援協力は大変だと考える。単発的な事はいつでもできるが、系統立てて定期的に行わなければ効果は現れない。時間をかけた検討を願う。 ・ 高等学校の生徒と特別支援学校の生徒が同じ敷地内で学校生活を送るということ、お互いうまく付き合っていけるかどうか不安である。事前指導等を期待する。高校生には入学した時点で、障害について知ってもらいたい。 ・ 高校へ入学した生徒には、障害を個性と思ってもらえるような学校づくりをお願いしたい。 ・ 健常の生徒の人権意識を高めることも充実させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援学校の過大規模化は喫緊の課題で、解消に向け取り組むとともに、高等学校との併置により一層の教育効果が得られるよう、慎重に検討していきます。 ・ 特別支援学校との併置は、今回の再編整備では、大きな位置づけとなっています。高等学校の生徒、特別支援学校の生徒が同じ空間をお互い理解しながら共用できるよう、努めていきます。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両校の卒業生は、統合後も、それぞれの高等学校卒業生か統合校の卒業生か。また、高校卒業の証明を入手する場合どうすればよいか。 ・ 学校名を残してほしい。 ・ 西校舎の坂道を改善できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該校による両校協議会を設置し、統合に係る課題の解消に努めていきます。 ・ 統合までの両校の卒業生は、それぞれの学校の卒業生です。卒業証明書の取得場所については、今後検討いたします。

4 定時制・通信制教育について

	意見の概要	県教育委員会の考え方
<p>案全般について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今、生きづらさを持った子どもたちが大勢いる。そういう子どもたちの発達・学習権を保障することを県行政として力を入れてほしい。 ・ 不登校や中途退学の生徒等、いろいろな問題をかかえた生徒の大きな受皿になっている。不登校の子どもたちのニーズは年々大きくなってきていることを知っておいてほしい。 ・ 拠点校を中心に据えて、併設型定時制を削減するのではないか。 ・ 昼間定時制の定員がもっと増えれば、不登校生や中途退学者の学ぶ場が保障されると思う。 ・ 南紀高等学校に通信制課程が併設されることはうれしい。新宮、串本、田辺方面の生徒の拠点になる。南北に長い和歌山県では、紀の川、統合校、南紀への通信制の機能分担案は、生徒にとっては大いに歓迎される改善案である。 ・ 施設や人的配置も併せ拠点校が設けられれば、本当に素晴らしい計画である。 ・ 拠点校は3校でなく、陵雲高校、青陵高校を含めた4校ではなぜいけないのか。 ・ 連携高からの併修については、実現できるとよい。 ・ 全日制の高校同様、進学に対応した学習カリキュラムや、進路指導について、拡充してほしい。 ・ 単に教員のリストラ、過重労働にならないようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年の県内中学校卒業生の減にかかわらず、定時制・通信制教育には一定のニーズがあり、今後も、教育環境等の充実に力を入れていきます。 ・ 県内を大きく3地域にわけて中心校を置く今回のプログラムでは、中心校を定時制・通信制の両課程を併せ持つ、わかりやすい同様のシステムを持つ学校とし、近隣の併設型定時制と連携を取りながら、教育環境を向上させていきます。 ・ 通信制課程を南紀高等学校に設置することにより、紀南地域の通信制課程の生徒に、今まで以上の学習支援を行えるよう努めます。

<p>案の進め方について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合の説明会を開催し、意見を聞く機会を持ってほしい。 ・ 統合はじっくり時間をかけて検討し、広範囲な方々の意見を聞き実施してほしい。 ・ パブコメの結果を、どのように実施内容に反映するかが大切。意見紹介のみにならないように留意願う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の統合については、学校を通じて、教職員や学校関係者のご意見を伺いながら進めてきたところです。 ・ 当該校による協議会を設置し、統合に係る課題の解消に努めます。 ・ 今後も学校関係者等の意見を広くお聞きし検討していきます。
<p>青陵・陵雲統合について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青陵高等学校と陵雲高等学校を統合して、定時制と通信制を併せ持つ学校とすることには賛成。わかりやすい。 ・ 青陵高校と陵雲高校は統合しないで今のままでよい。1つの教育環境になるといろいろな問題が生じてくると思う。 ・ 伝統ある学校を統合するのはとても残念である。 ・ 今現在、なんとか頑張って登校している子どもたちに、統合による環境の変化が悪影響を及ぼさないか心配である。また、教育条件を低下させないかと懸念している。 ・ 生徒の精神面の問題で、不登校の多い生徒がやっとな環境になれて登校している状況で、統合校では環境適当できず再度不登校になる懸念がある。 ・ 統合すれば、先生の数が減り、生徒の数が増え、先生も忙しくなり生徒への対応ができなくなる。 ・ 「学びのための環境づくり」というのであれば、より良く拡充をして進めるべき。 ・ 青陵高校・陵雲高校の統合校において、連携校からの生徒の受け入れは、困難が予想される。 ・ 両校とも桐蔭高等学校から独立して現在の形がある。独立校とした当時の教育の意気込み、思いを今一度振り返ってほしい。 ・ 運営においては今の通信制の良さを継続してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のプログラムでは、県内を大きく3地域にわけてそれぞれ中心校を置き、県内の定時制・通信制教育を充実させていきます。中心校は定時制・通信制の両課程を併せ持つ、わかりやすい同様のシステムを持つ学校とし、生徒のニーズに応じたシステムづくりを進めます。
<p>教育環境・施設について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全日制高校に通えない子どもたちにふさわしい環境整備こそがもっと必要。より良い環境を整えてほしい。 ・ 生徒が楽しく学習できる学校にしてほしいと願っている。 ・ 全日制と同等な教育条件を整備すべきである。 ・ 居場所を求めている子どもが多い。多様な生徒に対応できるもっと余裕あるスペースが必要である。 ・ 青陵と陵雲の正門は桐蔭の通用門と兼用になっていて生徒にはづらいものである。この機会に改善してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育環境の充実という観点から、一層改善を図るよう努めます。 ・ 青陵高等学校と陵雲高等学校にあつては、現状、桐蔭高等学校、桐蔭中学校と同じ敷地にあつて、展開しています。このたびの統合により、両校の施設設備について、見直し等のうえ、少人数対応のセミナールームや必要な施設について活用を図るとともに、一層の教育環境の向上に努めていきます。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が卒業した高校が名前が変わったり、なくなったりしたら悲しい。 ・ 軽度発達障害等の生徒への対応を考えてほしい。定時制・通信制の高等学校に発達障害のプロの先生を送り込んでくれることを希望する。 ・ 体育祭と文化祭は毎年行いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該校による両校協議会を設置し、統合に係る課題の解消に努めていきます。また、統合校における今後の教育のあり方についても検討を重ねていきます。